

配食事業に関するヒアリングシート

資料 1-3
地域高齢者等の健康支援を推進する
 配食事業の栄養管理の在り方検討会
 H28.9.5

事業者名 株式会社ファンデリー

質問	回答
1 配食事業の基本属性	
配食事業の沿革	2004年4月 健康食通販カタログ『ミールタイム』創刊
展開地域	全国（クロネコヤマト社お届け可能範囲）
主な利用者層	糖尿病、腎臓病、高血圧、肥満などの疾病をお持ちの方
食数	1回のお届けあたり7食以上
メニュー別の価格	各カテゴリごとに設定 ヘルシー食 （おかずのみ498～598円、ごはん付き498～598円） ヘルシー食多め （おかずのみ678～698円、ごはん付き678～698円） たんぱく質調整食 （おかずのみ498～598円、ごはん付き548～648円） ケア食 （ごはん付き498～598円）
2 配食事業における栄養管理の状況	
(1) 配食の設計（以下「献立」という。）について	
① 献立作成はどのような方（有資格者の場合は、資格名も）が担当されているか教えてください。	メニュー開発担当の管理栄養士
② 献立作成に当たり、対象者や1食当たりの栄養価の設定について、どのような考えのもと行っていますか。	食事摂取基準や日本高血圧学会・日本腎臓学会の食事療法ガイドライン参照。
③ 献立の栄養価のばらつきはどのように管理されていますか。（食品成分表を用いた計算により、1週間の献立で±〇%以内になるよう管理している等）	各カテゴリごとに上限を設定 ヘルシー食 おかずのみ【エネルギー300kcal未満、塩分2.0g未満】 ごはん付き【エネルギー500kcal未満、塩分2.0g未満】 ヘルシー食多め おかずのみ【塩分2.0g未満】 ごはん付き【塩分2.0g未満】 たんぱく質調整食 おかずのみ【たんぱく質10.0g未満、塩分2.0g未満】 ごはん付き【たんぱく質10.0g未満、塩分2.0g未満】 ケア食 ごはん付き【エネルギー500kcal未満、塩分2.0g未満】
④ メニューサイクルはどのような考えのもと、どの程度とされていますか。	『ミールタイム』カタログ掲載メニュー約250種類の内、前号と比較して50%以上のメニューを入替。
⑤ エネルギーやたんぱく質等の量を調整した商品（以下「コントロール食品」という。）を取り扱っていますか。 →取り扱っている場合、「A」へ →取り扱っていない場合、「B」へ	取り扱っている ・ 取り扱っていない

<p>(2) フォローアップ時に、利用者と商品の適合性について、誰（有資格者の場合は、資格名も）がどのように、また、どのようなスパンで確認をしているか教えてください。</p>	<p>管理栄養士・栄養士が血液検査結果を伺い状況を把握。スパンは顧客により異なる。</p>
<p>フォローアップを行っている場合は、どのような奏功例があるか教えてください。</p>	<p>『ミールタイム』をご利用いただくことで、血液検査結果の改善を把握することができる。</p>
<p>(3) 利用者の健康支援を推進する配食として、注文時対応や利用後のフォローアップにおいて留意すべき点は何か教えてください。</p>	<p>提供している食事以外に何を召し上がるか把握。</p>
<p>(4) 配食事業を通じて、上記以外に、利用者への健康支援として取り組んでいることはありますか。（かかりつけ医療機関等への情報提供、定期健診の推奨等）</p>	<p>特になし</p>
<p>4 その他</p>	
<p>(1) 自治体を実施する配食事業の受託（配食利用者の配食費用の一部又は全部を自治体が助成する場合で、当該自治体から配食事業者として指定されることをいう。）の有無</p>	<p>有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無</p>
<p>受託している場合は、受託していない場合と比べて、価格などサービス面でどのような点が異なるか教えてください。</p>	<p>（この欄は削除されています）</p>
<p>(2) 国への期待 配食利用者の健康支援を行う配食事業の拡大に向け、国に対し、どのようなことを期待されますか。（なるべく配食業界全体としての観点からの御回答をお願いします。）</p>	<p>病院などにおける【栄養食事指導】の算定要件に「具体的な配食事業者を紹介する」等の文言追加。 厚生労働省として宅配食利用を啓蒙するテレビCM実施。 厚生労働省として宅配食の紹介サイトを設立。 病院で生活習慣病の患者全ての方に【栄養食事指導】を受けられることを、医師会を通じて医師に徹底。</p>
<p>(3) その他の御意見等</p>	<p>本検討会によるガイドライン策定に伴う、数字目標設定と振り返り実施。</p>